

令和 2 年 10 月 6 日

国勢調査の匿名データの有用性に関する情報の提供について（案）

国勢調査の匿名データの有用性については、利用者が匿名データの特徴を把握することを目的として、平成 22 年及び 27 年国勢調査の匿名データの提供開始時に併せて有用性に関する情報（調査項目別構成割合の比較表）を提供した。

過去の本会議（令和元年 11 月 27 日及び 2 年 3 月 16 日開催）において、国勢調査の匿名データに基づく基本統計量と調査結果の比較方法について、カイ二乗検定量及びコルモゴロフ = スミルノフ検定統計量の試算及び提供方法等の検討を行った。

その際の御指摘を踏まえ、再度、計算を行った。

1. 行った検定**● カイ二乗検定**

年齢、労働力状態、産業、家族類型及び世帯人員について、全国、神奈川県、鳥取県及び新潟市の 4 地域の検定量を算出した。

年齢、労働力状態及び家族類型については、粗い区分も計算した。

● コルモゴロフ = スミルノフ検定

年齢（5 歳階級 / 10 歳階級 / 3 区分）について、全国、神奈川県、鳥取県及び新潟市の 4 地域の検定量を算出した。

なお、計算方法については、参考 1 参照。

2. 検定の結果

資料 2 及び資料 3 参照。

3. 検定結果の提供

平成 22 年及び 27 年国勢調査においては、カイ二乗検定及びコルモゴロフ = スミルノフ検定の検定結果を有用性に関する情報として、資料 2 及び資料 3 のとおり利用者に提供する。

なお、コルモゴロフ = スミルノフ検定について、提供の際には算出方法も添付する。